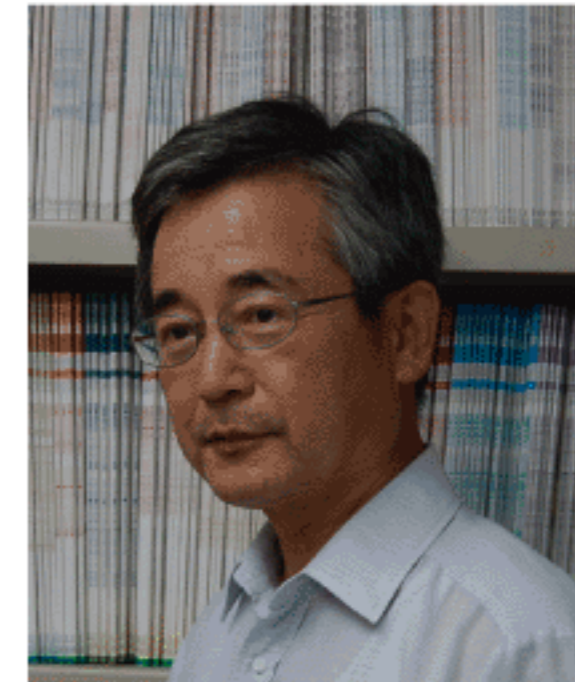


● 今月のコラム

園芸トレードフェアで真の情報交換を

(株)グリーン情報 山川正浩



ジャパンガーデニングフェアの流れを汲んだ第1回園芸トレードフェアが来月15・16日に東京流通センターで開かれるが、出展メーカー・植物生産者とバイヤー・ベンダーとの情報の交差点、真の情報交換の場となることを期待している。

7月にガーデンを考える会が開催したセミナーでは、募集100人を大きく上回る応募があり、メーカー・ベンダーであるカネコ種苗・堤氏の話には、小売り・市場の流通側が、また、小売りのトステムビバ・矢野氏の話にはメーカーも釘付けとなり、また、セミナー終了後の反響も大きかったようだ。講演の内容の濃さが大きな要因に違いないが、今回のセミナーでは、メーカー・生産者と小売り・流通との情報交換の場を痛感した。真の情報交換ができれば、売れるものが店頭並び、まだまだ市場は拡大していくものと強く感じた。

特に園芸資材に関しては、専門店に行って話しを聞いても「メーカーの顔はほとんど見ないどんな資材が売れているか、自分の店のことしかわからない」といった声をよく聞く。確かにメーカーにとっては専門店を1店舗ずつ回っては効率的に疑問もあろう。しかし、専門店ならではの情報も、商品の開発あるいは販促に必要ではなかろうか。

今回のトレードフェアでは、まさにこの“交差点”になることを目指している。多くの出展社をはじめ、特別展示として「トマト大集合」「ROSEマーケット」「収穫の花畑」などもある。フェアの詳細は、園芸トレードフェアのホームページを参照していただきたいが、ぜひ来場し、出展社、参加者とじっくり話し合い、真の情報交換を行うことによって、メーカーは小売りの声を生かした商品開発を、小売りはメーカーの情報を生かした売り場展開となる情報を持って帰って欲しい。

参加すれば、必ず得るものがあるフェアであると確信している。

10月15・16日、どれだけ多くの人と真の情報交換ができるか。それが、明日のビジネスに結びつく、と思っている。

フェアに関してはホームページをご覧ください

<http://www.green-joho.jp/fair/index.html>

カエデ
kaede 募集**観葉植物開発普及協会「業界活性化討論会」参加者募集！**

開催日：9月24日(水)、25日(木)の2日間

開催場所：ホテル明山荘（愛知県蒲郡市）

内容：NPO法人観葉植物開発普及協会主催による討論会。

「資源高の時代、知恵を絞り、工夫を凝らして生き残ろう」をテーマに、生産、流通、レンタル、資材など各分野が集まり、花き業界の明日を2日間にわたり5部構成で話し合う。会費2万円（一泊三食・参加費込み）

9月12日までに申し込み。

問い合わせ：観葉植物開発普及協会 TEL03-5469-8845

■当日スケジュール

9月24日(木)

14:30～ 第一部 「異業種、小売業・レンタル業からの消費動向に関して」

15:40～ 第二部 「市場、卸業からの提言」

16:50～ 第三部 「植物の消費拡大企画商品に関して」

海外植物探索における新植物提案／会長 田中耕次（株山手苑）・・・スライドにて講演

19:00～ 懇親、交流会

21:00～ 二次会

9月25日(金)

8:30～ 第四部 「各分野から生産者への提言、生産者からの要望」

10:00～ 第五部 「業界一体となった消費拡大活動について」

12:00～ まとめ

12:30～ 昼食（終了後解散）

 NEWS

フェア入り口には5番目の部屋をテーマにした展示

**タカショー トータルガーデンフェア
5th ROOM & リフォームガーデンをテーマに**

（株）タカショー（高岡伸夫社長）は、5回目となる「タカショー トータルガーデンフェア」を8月8～9日の両日、東京ビッグサイト東2ホールにおいて開催、全国の設計施工関係者などが多数来場し盛況だった。



今回のテーマは「5th ROOM & リフォームガーデン」で、リビング、ダイニング、キッチン、ベッドルームに続く5番目の部屋、5th ROOM（フィフスルーム）を、家の中と庭を結ぶ部屋として提案した。

新商品として、エバースクリーンとポーチガーデンが大きくスペースを占めていたが、ポーチガーデンで今回特に人気だったのが、美しい垂木の張り出しが魅力の「J（和）ポーチ」「EU（洋）ポーチ」だった。

このほか環境・エコロジー対応の緑化システムやミスト、ソーラーガーデンシステムが新規に提案され注目を浴びた。好調なキャラクター商品では、ディズニーに加え、トムとジェリーで知られる「ワーナーブラザーズ」が新商品として加わった。

フェアと平行してリフォームガーデンクラブの全国交流会が開かれ、初日は午後3時の分科会、5時過ぎからは全国交流会、翌日はオプションツアーが行われた。全国から参加した交流会であいさつした高岡社長は「昨年は会員428社であったが今年は541社となり、またウェブも40万ページビュー（7月）と増えている」と、同クラブが順調に発展していると述べた。



● 「住宅メーカーが提案する園芸とやさいのセミナー」 申し込み受付中

特別チケット販売！フェア来場促進などにおすすめです。

10枚セットで、

1日 20,000円 + 1枚サービス

2日間 30,000円 + 1枚サービス

- ・会場：東京流通センター 第2会議室（東京都大田区平和島）
- ・対象：ガーデンを考える会会員、一般
- ・参加費：1日 ガーデン会会員2,000円（一般4,000円）
2日間 ガーデン会会員3,000円（一般6,000円）

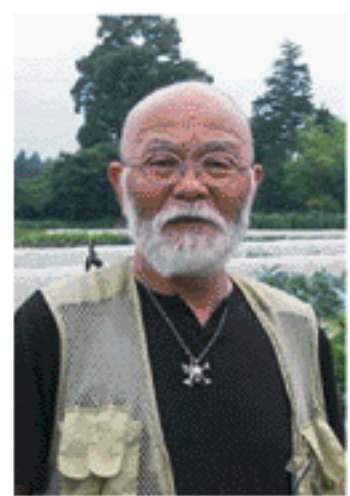
※お申し込みは事務局まで。詳細はホームページをご覧ください。



①2008年10月15日（水）11:30～13:00

「住宅メーカーが提案する園芸」

山崎正之氏（フロレゾン(株) 代表取締役兼CEO）
園芸業界のビジネスモデルのしくみ、仕掛け作りのヒント満載！



②2008年10月16日（木）11:30～13:00

「フロンティア精神と異次元発想／イノベーションとイマジネーション」

浅野悦男氏（エコファーム・アサノ 代表）
シェフの要望を取入れた、おいしい野菜の育て方
～ニーズがわかれば、ニーズを創ることも可能に～

● 会員紹介

近畿農産資材(株)



<http://www.kinkinousan.co.jp/>

当社は兵庫県の奥地、佐用町に位置します。法面緑化、屋上緑化、園芸、農業などあらゆる分野のお客様に、土壌を提供する土専門の総合メーカーです。

おかげさまで本年創立30周年を迎えました。普及品から専門培養土まで多品種の土が当社の工場揃います。園芸関係はOEMが中心です。

目立たないけれども植物にとっての重要な要素である土づくりをととして、多くの方に必要とされ、喜びいっぱいの会社にしてまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

お問い合わせ

〒679-5302
兵庫県佐用郡佐用町
山脇字一本木1129

TEL 0790-82-3862
FAX 0790-82-3863

 会員コラム**車、携帯、園芸**

羽田光一(メネデール株式会社)

私が子供の頃はマイカーなど高根の花であった。
それが今や街に車があふれ、ついには逆に若者の車離れを心配する時代になってきた。
交通行政の様々な施策により、交通事故死者数は1990年を境に減少傾向である。
しかし、街を車で走っていると、ますます走り辛くなっているように感じる。
私も含めてだが、皆自分が前に進むことしか考えていないように思える。
少しの想像力と理性を働かせれば、もっとスムーズに走れるのになあと思うのは毎日のことだ。
そこで“交通マナーの向上”という掛け声が行政からも業界からも掛かることとなる。
だが、マナーキャンペーンで問題が解決するなど幻想に過ぎない。
もともとそんな発想などない人々に、いくら訴えかけてもお金と時間の無駄だ。

携帯電話にも同じことが言える。
今や携帯の契約数は一億を超えている。公共交通機関や通話を制限されている場所で
平気で大声でしゃべっている人たちが、老若男女を問わず少なからずいる。
こんな自己中心的な人たちに“マナー”を訴えかけても無意味だ。

素晴らしい文明の利器を発明し、技術の進歩と努力でコストを下げ、大衆化する。
このビジネスモデルによって、多くの人々が文明の恩恵を蒙る代償に
様々なストレスに日常的にさらされることとなる。
文明は確かに便利で手軽だ。しかし、文化に手軽さはない。かえって手間がかかったりする。
そこに文化の良さがあるのだろう。

花や緑を育て、楽しみ、利用する園芸は、長く継承されてきた人類固有の文化だ。
だが、花や緑が人々の心にゆとりを生み出すのではない。
心のゆとりが、花や緑を求めるのだ。
心のゆとりを取り戻すことが園芸文化を発展させ、それに裏打ちされた産業の拡大に結びつくのではない
だろうか。

今こそ、安定した経済や政治をバックボーンに、人々の心理的安寧が求められている。
殺伐とした世の中には花や緑は似合わない。
園芸はまさに平和産業だ。

 事務局だより**来年1月セミナー開催決定 in京都**

京都市内にて、来年1月20日午後より、ポタジェガーデンの楽しみ方について、深町貴子氏(有)タカ・グリーン・フィールズ)に、テレビでお馴染みの藤田 智氏(恵泉女学園大学園芸文化研究所准教授)には、野菜にまつわるお話をさせていただきます。

ガーデンを考える会事務局
名古屋市西区名駅2-25-10ヤマエイビル4F
TEL 052-571-7911
FAX 052-571-2208
E-mail npogarden@green-joho.jp